

えにわ湖自然の森自然観察教育林

秋の三段の滝

石狩森林管理署

【特徴】

えにわ湖自然の森自然観察教育林は、恵庭（えにわ）市から西方約15キロメートルの漁川（いざりかわ）ダムの南側に位置し、トドマツを混交した広葉樹を主とする森林です。この自然観察教育林内にある「えにわ湖」は、治水を目的として恵庭市を流れる漁川をせき止めて造られた人造湖です。漁川という名は、アイヌ語の「イチャン」でサケやマスが卵を産むところに由来しており、流域の暮らしと生命を支えてきました。

えにわ湖を中心に上流には「恵庭溪谷」、南側には恵庭市が昭和63年に造成した「緑のふるさと森林公園」、西側（下流）には「桜公園」があります。

緑のふるさと森林公園は、綺麗に整備され、動植物の観察、森林の役割など自然科学教育の場に利用されています。恵庭溪谷は、漁川の支流ラルマナイ川が流れ、滝が多く、紅葉の景勝地として恵庭市が「ラルマナイ自然公園」に指定し、多くの方から親しまれています。

【植生と野生動物】

自然観察教育林内は、ヤチダモ、ミズナラ、エゾイタヤなどの広葉樹と、エゾマツ、トドマツといった針葉樹が混じった針広混交林で、天然記念物のクマガラをはじめ、夏鳥のキビタキ、エゾムシクイや留鳥のヒガラ、ハシブトガラなどの森林性の鳥類が多く生息しています。



【楽しみ方】

えにわ湖上流、漁川支流のラルマナイ川に恵庭溪谷があり、高さ15m幅18mで真っ白な扇を広げたような優美な「白扇（はくせん）の滝」、大木の間から雄々しい姿で流れ落ちる「ラルマナイの滝」、白い帯が三段になって恵庭溪谷を割るように流れ落ちる「三段の滝」の三つの個性的な滝があります。

また、その道中に「えにわ湖自由広場・桜公園」、「緑のふるさと森林公園」があり、えにわ湖自由広場・桜公園は四阿（あずまや）や花壇などが配置され、桜公園は春の花見、秋の紅葉と来園者を魅了します。緑のふるさと森林公園は、豊かな自然とのふれあいや動植物の観察、森林環境教育の場に利用されています。



《利用案内》

○入園料：無料

○開園時間・期間・時期等

- ・緑のふるさと森林公園：4月28日～11月4日（年によって変動あり）／9時から17時まで
- ・えにわ湖自由広場・桜公園：4月28日～11月4日（年によって変動あり）／24時間利用可能

○白扇の滝、ラルマナイの滝、三段の滝は通年24時間利用可能